

令和3年度学校関係者評価

慈恵歯科医療ファッション専門学校

令和3年度学校関係者評価委員

○関連業界関係者

浅井 章夫 様 浅井歯科医院 院長、愛知県歯科医師会副会長

樋口 泰弘 様 水野株式会社常務

塚元 雅則 様 愛知県立岡崎東高等学校 福祉科 教諭

○卒業生

横山 美佐江 様 ファッション学科卒業生

○近隣住民代表

宮治 友也 様 安城市地域代表

<教育の概要、目標及び計画>

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・学校における職業教育その他の教育指導等の特色が周知されているか	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想が策定されているか	4	3	2	1
・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者・非常勤講師等に周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

①現状の課題

- ・教職員全員が共通理解の下に実践していく環境づくりの推進を図る。

②今後の改善方策

- ・本校が目指す教育方針を、学生及び保護者の意識や価値観を尊重しながらできるだけ丁寧に周知していく必要がある。

③学校関係者評価

- ・人格形成の場として、学生の自覚と責任を持たせるような機会をつくり、心豊かなコミュニケーションができる社会人を育成する必要がある。人間的に信頼できる人材が求められている。

<各学科等の教育>

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・募集定員に見合った応募人数があり、入学者数が定員を満たしているか	4	3	2	1
・カリキュラムの見直しが行われ、学んだことが就職活動に生かされているか	4	3	2	1
・進級・卒業の要件が見直され、退学率などの減少につながっているか	4	3	2	1
・目指している検定や資格取得の実績があり、卒業後の進路・就職に生かされているか。	4	3	2	1
・資格取得の実績は維持・改善されているか	4	3	2	1

①現状の課題

- ・各学科で反省点を生かして、改善策を考え実行していくことにより各学科の成長が見えるように取り組む。

②今後の改善方策

- ・授業改善を図り、資格取得の実績を更に伸ばす努力を続ける。
- ・就職実績を伸ばし、本校希望者数を増やすように、広報活動に力を入れる。

③学校関係者評価

- ・医療系の資格取得状況には、目覚ましいものがあり、今後も継続できるよう取り組んでほしい。

<教職員>

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
・教職員の勤務時間は、法令遵守されており、教育理念をもって教育活動に取り組んでいるか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

①現状の課題

- ・職員の能力開発のための研修機会・研修時間の確保が必要である。

②今後の改善方策

- ・教職員自らの専門分野等の知識・技術向上を図る必要がある。
- ・教職員がアクティブラーニングの研修ができる環境を作る必要がある。

③学校関係者評価

- ・幅広く資格取得に取り組み、情報処理の変化に対応できる人材育成に取り組んでほしい。

<キャリア教育・実践的職業教育>

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されて、シラバスに従って授業展開できているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1

①現状の課題

- ・臨床実習・病院実習・企業実習を行う中で職業観や社会人としての自覚を身に付けるよう指導する。

②今後の改善方策

- ・積極的に実習に参加し、自ら考え行動できる力が身につくよう取り組む。

③学校関係者評価

- ・実習報告会で実習等の反省点を見直し、プレゼンテーションすることで成長していくことを期待したい。

<学修成果>

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
・進学率や就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1

①現状の課題

- ・より多くの求人数を確保するため、就職指導（企業斡旋）に取り組む必要がある。
- ・卒業生の社会的な活躍及び評価を把握した上での、卒業後のフォローアップ体制を構築する必要がある。

②今後の改善方策

- ・退学者の理由は、学習意欲の欠如、経済的な理由、家庭の事情、不登校など多様である。学生を多面的に理解し、些細な変化も見逃さず、家庭との連絡を一層密にしながら担任と学校全体とで組織的対応をしていく必要がある。

③学校関係者評価

- ・検定試験等を受検し、資格取得に取り組んでいることは評価できる。歯科衛生士国家試験においては4年連続で100%合格をしていることも評価できる。

<学生の生活支援>

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に運用しているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制を整備し、適切に運用しているか	4	3	2	1

①現状の課題

- ・経済的に修学が困難になった場合、可能な限りの支援策について教員全員が情報共有する必要がある。

②今後の改善方策

- ・本年度は新型コロナウイルスの生活支援として奨学金申請や食料支援を行った。また、修学支援が必要な学生には給付型奨学金制度を案内し、申請を支援する必要がある。

③学校関係者評価

- ・留学生の地域におけるアルバイト状況を把握し、支援していくことが大切である。接客対応もよくなるよう指導する必要がある。

<様々な教育活動・教育環境>

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

①現状の課題

- ・ インターンシップ等において受け入れ側の事情を考慮した上で学生の安全面などを検討する必要がある。
- ・ 大規模災害への対策を検討必要がある。

②今後の改善方策

- ・ 地震等災害時の食料品備蓄だけではなく、トイレの確保についても検討が必要である。
- ・ 消防署と連携した災害訓練を計画し実行する必要がある。

③学校関係者評価

コロナによる自宅待機等を考えると、インターネット環境を視野に入れた教育環境を整える必要がある。

<学生の受入れ募集>

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・ 学生募集活動において教育成果は募集要項等で正確に周知しているか	4	3	2	1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

① 現状の課題

- ・ 学生数減少傾向への対応策を早急に検討し、広報活動を推進する。

② 今後の改善方策

- ・ ファッション学科での男子学生・留学生の受け入れを開始する。
- ・ 本校独自の魅力をPRしていくことが大切である。

③ 学校関係者評価

- ・ 体験入学の充実、AO入試の広報活動などで、入学志願者の増加を図る必要がある。

< 財 務 >

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

①現状の課題

- ・ 女子学生だけでなく、男子学生の更なる受け入れを検討していく。

②今後の改善方策

- ・ 備品、消耗品の更新・廃棄を行うよう努める。

③学校関係者評価

- ・ 財務情報の報告はホームページで公開されており、適切に処理されている。

<コンプライアンス等>

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・ 自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

①現状の課題

- ・ 学校評価に基づく改善の取組みと教育情報公開に取り組んでいく。

②今後の改善方策

- ・ 学校評価の結果と対策・対応について教職員で情報共有し、自己評価によって明らかとなった改善を必要とする事項に、できることから取り組む。

③学校関係者評価

- ・個人情報、会社・医院・学校等でも厳密に保持・保管することが必要である。

<社会貢献・地域貢献>

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1

① 現状の課題

- ・ 教育資源を活かした地域貢献の推進をする必要がある。

② 今後の改善方策

- ・ 本校教育資源に対する地域社会の要望を集約する機会を生み出していく必要がある。

③ 学校関係者評価

- ・ 地域が企画運営する行事等に、学生ボランティアが積極的に関わり貢献するのはよい。

V 総合的な評価結果

各取り組み状況については「適切」「ほぼ適切」と評価できる。

さくら学園の教育活動の根幹である校訓「誠心」「感謝」を全職員・全学生で大切にし、一人一人の学生に寄り添った、きめ細かで丁寧な指導により、心豊かで自律心に富み、社会に貢献できる人材に成長して卒業している。関係企業・病院・クリニックからも「即戦力となり、必要な存在」と称賛されている。今後も「一人一人としっかり向き合い」学生に合ったきめ細やかな教育に取り組んでいく必要がある。

全教職員で、全ての学生に誠実に対応し、学生自身が自ら考え行動できるよう教育環境を整え、評価結果を真摯に受け止め、時代のニーズに応える職業教育の充実を継続していかねばならない。